



平成 28 年 11 月 30 日(水)  
練馬区立開進第四小学校  
校長 佐々木 秀之

# 開四小だより

## 12月号

### 芸術家の生き方や考え方に学ぶ

副校長 桐敷 芳子

今年もいよいよしめくくりの月となりました。都内では観測史上54年ぶりの積雪となるなど寒さの続く中を、学芸会には多くの方々においでいただき、大変感謝申し上げます。

\*

上野公園にある国立西洋美術館本館は、今年の夏、世界遺産に登録されて話題となりました。設計者である近代建築の巨匠ル・コルビュジエは20世紀を代表する建築家の一人です。合理的・機能的で明晰なデザイン原理を、絵画、建築、都市等において追究し、その後の建築や都市計画に大きな影響を与えました。彼の建築は近代的で、鉄筋コンクリートの建築技術やガラスなどの当時の最先端技術を活用することによって、これまでにない構造やデザインをもつ新しい建築の可能性を開花させたのです。

1959年(昭和34年)、戦後の日仏国交回復・関係改善の象徴として作られた国立西洋美術館本館は、ル・コルビュジエの考える「無限成長美術館」という理念の元につくられました。巻き貝が中心から出発して外に向かっていくように、絵画や彫刻のコレクションが増えるにしたがって建物の外側に展示室を追加できるようになっています。出発点は本館の中心に位置する19世紀ホール。ここから2階へのスロープ、2階展示室、2階の新館へと続き、まるで巻き貝の中を歩くかのように、ぐるぐる回転しながら見学することができます。美術作品を宝物として厳重に保管するためだけに美術館が存在するのではなく、それを愛好する全ての人々に開放し、時代やニーズによって展示を増やす、取り替えるなど、成長し続けることを理念とする建築を完成させたのです。

\*

20世紀の芸術家たちは、神々や一部の権力者だけに捧げられていた芸術の価値理念を変換し、自己の主張、とりわけ、これまでにない新しい価値観を築いて作品に託し表現しようとしてきました。表現の核となる理念は、芸術家の作品だけにあるのではなく、どのように小さな表現にもあります。理念とは、自己の思いといえるでしょう。子供たちには様々な学習や活動を通して、自己の思いを存分に表現させたいと思います。先日の学芸会で、子供たちは一人一人役になりきり、自己表現することに挑戦しました。芸術家の生き方や考え方に学び、自分の考えや感じたことを他との調和を図りながら実現していく、そんな子供たちに成長してほしいと願っています。